

科目ナンバリング		G-LET35 68433 LJ38									
授業科目名 <英訳>		現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 小関 隆			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	水4	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		サッチャー時代のイギリス									
【授業の概要・目的】											
今年度の授業は昨年度後期の「サッチャリズム序説」の増補版である。イギリス現代史上の決定的な転換期といわれるサッチャー時代（1979～90年）はイギリス社会をいかに変え、その変化は今日のイギリスをいかに規定しているのか、経済、社会保障、労使関係、外交、といった主要な政策領域に加え、サッチャーが折に触れて強調したモラルの改革をも視野に収めて検討することが主たる課題となる。											
【到達目標】											
サッチャリズムの時代がいかなる意味でイギリス現代史上の転換期であったか、第二次世界大戦から今日に至る長いパースペクティブの中で把握する能力を身に着けること。											
【授業計画と内容】											
(1)マーガレット・サッチャーの形成（1回） (2)「コンセンサス」批判（1回） (3)モラルの改革（2回） (4)経済政策（2回） (5)労使関係（2回） (6)福祉国家の解体？（2回） (7)アメリカとヨーロッパ（2回） (8)権威主義的リーダーシップ（1回） (9)サッチャー以降のサッチャリズム（1回） (10)総括（1回）											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
学期末のレポートによる評価を基本とする。											
【教科書】											
使用しない プリントを配布する。											
----- 現代史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

現代史学(特殊講義)(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

以下の文献を参照すること。

オーウェン・ジョーンズ(依田卓巳訳)『チャヴ：弱者を敵視する社会』海と月社、2017年。
セリーナ・トッド(近藤康裕訳)『ザ・ピープル：イギリス労働者階級の盛衰』みすず書房、2016年。
ピーター・クラーク(西沢保ほか訳)『イギリス現代史、1900 - 2000』名古屋大学出版会、2004年。
長谷川貴彦『イギリス現代史』岩波新書、2017年。

(その他(オフィスアワー等))

通年の受講が望ましい。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。